



SPI JAPAN 2012

SEPG活動とアジャイルの親和性を考える

株式会社NTTデータ
矢部 智
2012/10/11

NTT DATA

矢部 智

- ・ NTTデータ CMMIに基づく個別組織のプロセス改善を支援
コーポレートSEPGとして全社プロセスを整備
- ・ SEI認定 CMMI(SCAMPI)高成熟度リードアプレイザ

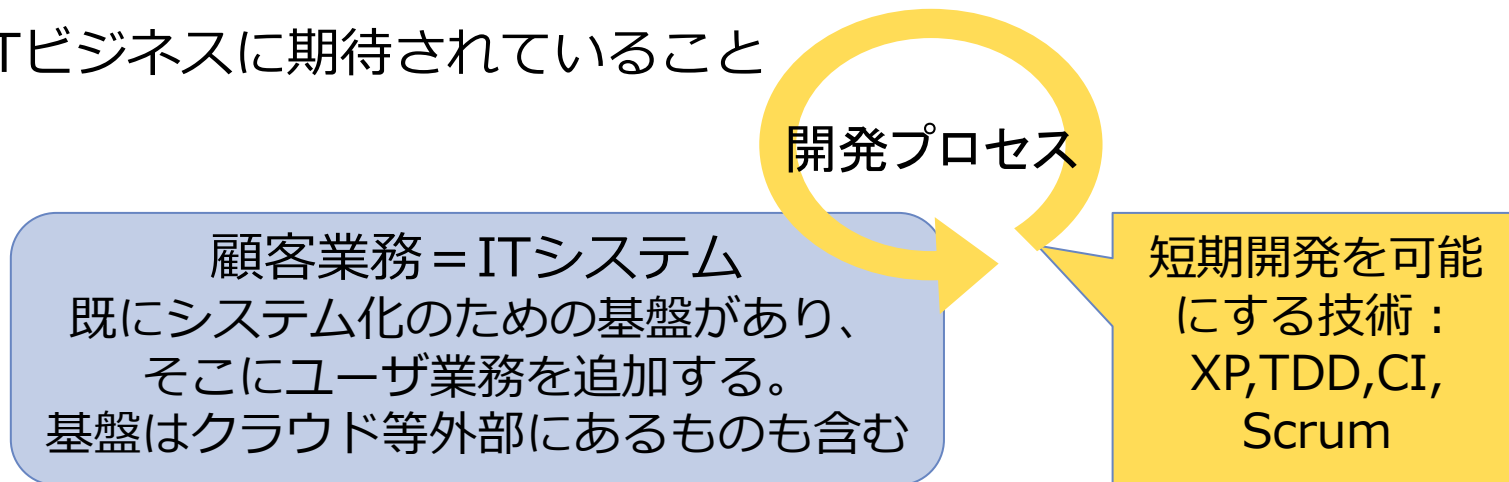
アジャイルとのかかわり (2011.11-現在)

- ・ 書籍「アジャイルサムライ」を担当内全員で買って議論
- ・ 勉強会「すくすくスクラム」に参加
- ・ 国際会議「SEPG North America」のAgile CMMI WSに参加
- ・ 自分のチームでタスク管理のためにRedmineを導入
- ・ アジャイルとCMMIの関係についてWEB記事を執筆

- 以前のITビジネスの典型的な流れ



- 今、ITビジネスに期待されていること



- SEPGの役割は、ビジネスに貢献するプロセスを作ること
- ITが普及し、開発技術が進化したため、すぐに動くシステムが求められるように
- アジャイルはそのようなビジネスの状況に対応したプロセスの一種
- SEPGがビジネスに貢献したければ、アジャイルを知っておくのは必然

CMMIとアジャイルはどちらもより良い開発を行うために作られた

- ・ CMMIはライフサイクルモデルを限定していない。アジャイルもウォーターフォールも同列の扱い
- ・ CMMI V1.3ではアジャイル開発の記述が追加された（次頁図）

CMMIが例示するライフサイクルモデル

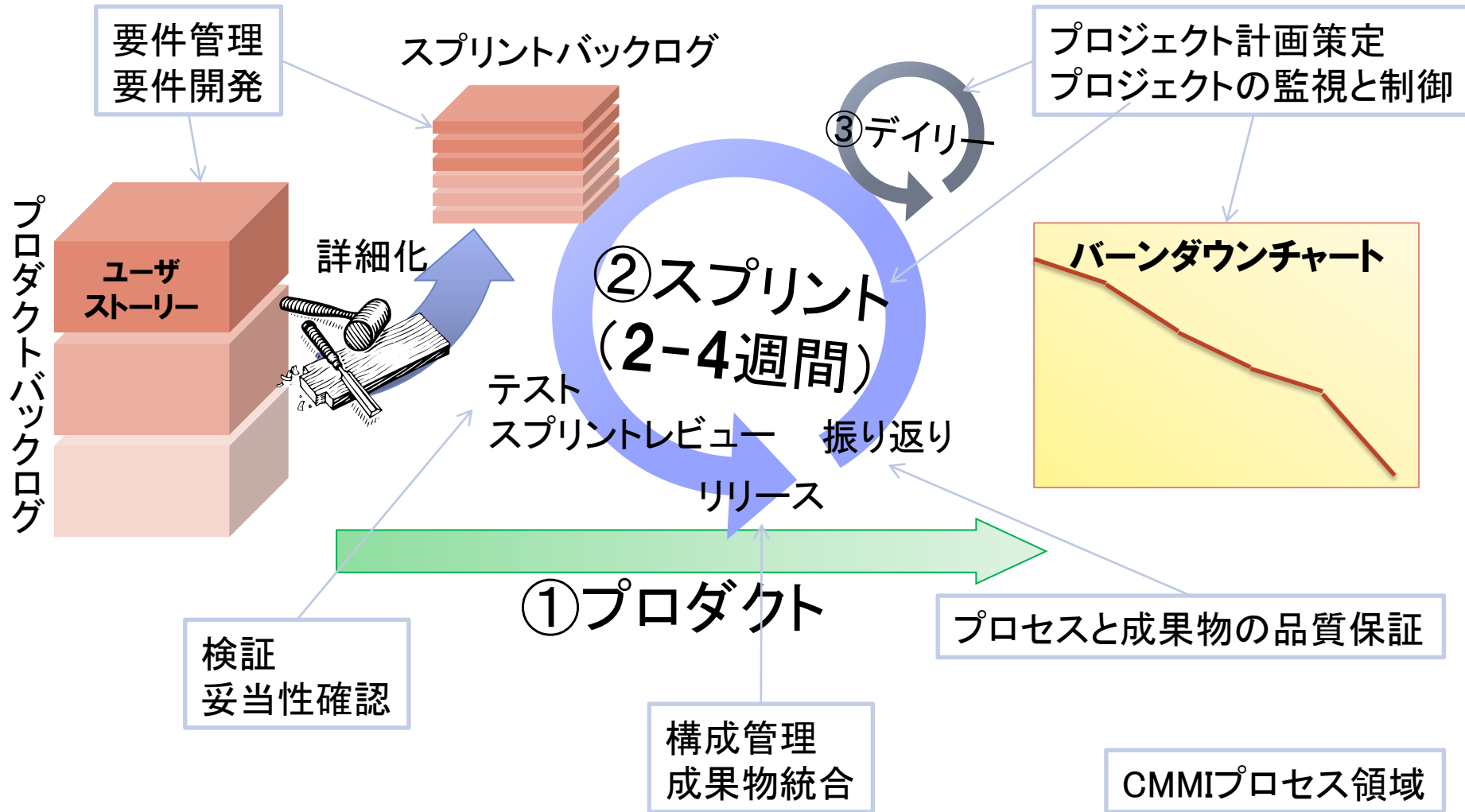
ウォーター
フォール

アジャイル
(反復型)

スパイラル

違いは何？アジャイルを学ぶことでどうよくなる？

- ・ アジャイル手法（スクラム等）は**具体化された行動**を記述
- ・ CMMIは**抽象化されたプロセスの本質**を記述、やり方は自分で定義
- ・ 手法の選択肢が増えることで、変化に柔軟に対応でき、より**ビジネスの状況にあったプロセス**が使えるようになる



全部の手法を一度に導入しなくてもいい